

日本医労連 2004年度NO.2 2004.12.1

青年協ニュース

全国の取組みやチラシ・ニュース等をお寄せください！

日本医労連 FAX：03-3875-6270

ニュースやネタは... seinen@irouren.or.jp までお寄せください

***このニュースは各県と各県青年部の代表（分かる範囲で）に送っています。青年の会議で配るなど、多くの青年に渡るようご協力ください！**

青年代表者会議の分科会ではこんな議論に…

先月熱海で開催された青年代表者会議では、議案提案のあと方針の柱に沿って4つの分科会に分かれて議論しました。そのなかみを簡単に報告します。

①分科会「遊んで学んで前進しよう」

参加が30名を越えたため、3グループに分かれた。青年部の課題については、特に学習・人集め・後継者作りについての議論が集中し、「職場の要求や青年の要求、ニーズにあった学習会に取り組む必要がある」というところで様々な経験が交流された。また、「青年活動の手引き*」については、「例題については実情と合わない部分があるがその骨格部分は参考になる。むしろ、手引きを実践する上で悩み出てくる。いろんな経験を紹介してもらいたい」といった議論がされた。

* 「青年部の手引き」は、活動するなかで感じた疑問に答えられたり、ヒントが得られるものとなるようつくりました。議案書（全国組合本部・都道府県医労連にも送付しています）のなかに入れてありますし、日本医労連のホームページからダウンロードして活用してもらえよう準備中です。アップできたらすぐにお知らせします。



②分科会「働きやすい職場にするために行動しよう」

参加者に3枚ずつの「青年一言カード」を記入してもらい、カテゴリー分けした後、結果に基づいて、2班に分かれて討論を行った。カードを分類した結果一番多かったものは「職場環境」。討論で一番出た意見が「時間外」「休日」「人員不足」等でした。一言カードを使うことで問題点や意見を出し合い、みんなで話し合うこと、要求を出していくことが重要であることが認識できました。その上で組合の必要性、重要性を改めて理解してもらえたのでは？

③分科会「平和のために行動しよう」

11名が参加しました。「なぜ労働組合・青年部は平和を提起しているのか」という問題提起のあとに議論を開始。みんなの出した結論は、「医療従事者として『いのち』を大切にしない戦争には反対。平和だからこそ私たちの仕事が成り立つ。取り組みとして意義や目的などどれくらい浸透しているか疑問だが、組合や青年部、仕事の仲間には話しやすい。世界的視野を持ち、考えの違う人を巻き込めるように、学習し、自分たちが情報の発信源になろう」。

④分科会「全国アクトを成功させよう」

北海道や東海北陸ブロック等を中心に13名が参加しました。アクト経験や感想、アクトへの思い、この分科会に参加した理由などを交流し、現地と本部段階での準備状況の説明や、全体で疑問や意見などを自由に出し合った。「アクトは全国の仲間と交流し、『自分は1人ではない。全国に仲間がいる』ことを知り元気になれる場」という意見が相次ぎ、北海道アクトへの期待が語られた。一方で、旅費の心配もかなり出された。ざっくばらんな議論、情報交換ができ、ほぼ参加者全員にとって収穫のある分科会になったのではないかと。



～兵庫県医労連青年部結成！～

お祝いのメッセージを送ろう

このニュースでもすでにお知らせしましたが、兵庫県医労連の青年委員会が今度の土曜日（12/4）青年部になります。みなでお祝いのメッセージを送ってあげよう！！ 送り先は兵庫県医労連です。

アドレス : irouren1@ddknet.ne.jp

ファックス : 078-335-0824